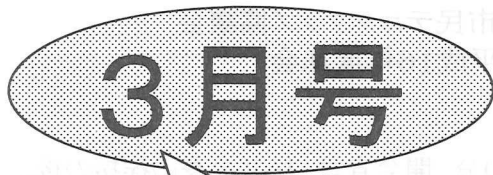


ガット

東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙



発行責任者
 会長 松井貞二
 住所 東村山市
 恩多町
 5-1-1

ナイター会員募集!
 申し込みは各クラブ会長まで
 会費¥5,000は、3月末までに本部会計に
 振り込んでください

総会特集!

平成16年度市民テニス協議会総会が、1月23日午後3時30分より東村山スポーツセンター大会議室で開催されました。今回の総会の目玉とされていたクラブ会員数均等化に関しては、残念ながら見送りになりましたが、運営委員会の説明に対して熱心な議論が交わされ、参加者57名の皆様のご理解とご協力により、無事閉会を迎えました。

第1回運営委員会報告

2005.2.11 スポーツセンター

■技術部

- ・2/11に第1回技術部会を開催しました。
- ・スクール生徒数:87名
 前半:46名(一般:24名/ジュニア:22名)/後半:41名
- ・2005年中級スクール予定
 - 1/10 ポーチで勝機を
 - 2/11 相手の守備範囲を広くさせる
 -ロビング、パッシング&ドロップショット
 - 3/21 プレッシャーに負けない備え
 - 5/5 ダブルスの作戦(1)-フォーメーション
 ※本井教室が開催される場合は中止
 - 7/18 ダブルスの作戦(2)-サーブスキープの原則
 - 11/23 ダブルスの作戦(3)-相手のサービスをブレイクする
 - 12/23 複合練習によるSkill&Strategyの向上
- ・年間計画
 - 森川教室(指導方法の研修) 3/20
 - 合宿(長野県佐久) 4/9、10
 - 練習会(基礎練習) 3ヶ月に1回程度
 - 練習試合(日本無線) 7月
- ・来年度よりスクールの申し込みは、直接技術部へ(新入会員を除く)ガットに募集の案内と申し込み方法を掲載します。

■広報部

- ・1/23に広報部会を開き、ガット担当月を決定しました。

■事務局

- ・恩多コート脇のSLのエリア内にボールが入った場合は、管理事務所に連絡してください。(勝手に柵の中に入らないように)
- ・ニューボールの使用
 各クラブの練習会では、1面につき2個、合宿では1泊につき16個までとします。
- ・首都圏以外に住んでいる休部会員は、各クラブ会長の承認を得た上で、1日500円で一時的にプレイすることが可能です。

各クラブ報告

- 恩多:1/22練習会実施(JSS)
- 諏訪:4/16(土)19:00~21:00ナイター練習会(恩多コート)

3月の高校コート

高校のコート		午前 9:00~13:00	午後 13:00~17:00
村高	3/5(土)	萩山	美住
	3/6(日)	青葉	恩多
西高	3/5(土)	恩多/諏訪	青葉
	3/6(日)	萩山	美住

3月のコート

★中級スクール 3/21(月)10:00~12:00

「プレッシャーに負けない備え」

朝昼コート一覧(土/日/祝日)

	5(土)	6(日)	12(土)	13(日)	19(土)	20(日)	21(月)	26(土)	27(日)
7-9	A.B.C	C.D.E	A.B.C	C.D.E	A.B.C	D.E	C.D.E	A.B.C	D.E
8-9	/	1.2.3.5	/	1.2.3.5	/	1.2.3.5	1.2.3.5	/	1.2.3.5
9-11	1.2.3.5	1.2.5	1.2.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.5	1.2.3.5
11-13	1.2.3.5	1.2.3	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5
13-15	1.2.3	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5
15-17	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3	1.2.3.5

春の市民大会申し込み

10:00~12:00 スポーツセンター
 3/6(日) スポーツクラブ室
 3/13(日) 研修室

★7中コート

美住 3/13(日)
 13:00~17:00

数字:久米川コート
 英字:恩多コート

×:予約外れ
 斜線:使用不可

東村山市民テニスクラブ協議会
平成16年度総会

1. 開会宣言

1月23日午後3時30分、開会宣言、松井会長の挨拶の後、議長として諏訪クラブ今井さん(前半)、恩多クラブの増本さん(後半)を推薦選出

2. 平成16年度活動報告

運営委員会、技術部、広報部、会計部(監査報告)の順で活動報告があり、審議の結果、賛成多数で承認

3. 平成17年度活動計画

運営委員会、技術部、広報部の活動計画と会計部から予算案の報告、賛成多数で承認

4. 平成17年度役員選出

5. 議長解任、閉会

平成17年度役員(一部)&各クラブ会長

- ☆会長 松井貞二(恩多)
- ☆副会長 武谷直也(恩多)
川路俊一(恩多)
卜部健人(美住)
- ☆会計部長 澤田正男(青葉)
副部長: 浜敬子(青葉)
- ☆技術部長 谷古宇勝美(美住)
- ☆広報部長 西村憲治(諏訪)
- ☆事務局
・局長 朝倉守(恩多)
次長: 石田晴康(萩山)
- ・コート取り 稲用一(美住)/サブ: 岩切京一(青葉)
- ・局員 高井実(諏訪)/石原啓五(諏訪)
早野美智子(美住)
- ☆会計監査 河嶋和興(萩山)/伊藤直美(萩山)
- ☆各クラブ会長
・恩多クラブ 進藤牧人
- ・萩山クラブ 大川濃
- ・青葉クラブ 阿部昌史
- ・諏訪クラブ 田口輝彦
- ・美住クラブ 浅田元弘

松井会長挨拶

こんにちは、総会に大勢の皆さんに出席していただき有難うございます。また、新しい会員の方々も見受けられ大変嬉しく思います。

この数年の市民テの諸活動を振り返ってみると、比較的順調にやってこれたと実感していますが、これも会員の皆さんのご理解とご協力のおかげです。ここにあらためて会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

とくに、先日も新会員対象にコート予約に関する説明会を行いました。コート予約及びその後の振り替え等については大変な労力で事務局はじめコート取りの担当の皆さんには本当にお世話になっております。この事は以前にもお話ししましたが、コートを確保することはわれわれ市民テの活動の根幹をなすものですから、どんなことがあっても絶えず取り組んで行かなくてはならない問題でありますので、昨年同様、会員の皆様にはご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

さて、昨年の総会で恩多クラブより提起された「クラブ員数アンバランスによる諸問題を解決してほしい」という要望を受けて、検討委員会を設けて諮問しました。

クラブ均等化の問題は以前にも起きていますので、今後同じことで無駄な時間を費やさないためにも、また、市民テは一つという考えで市民テの将来を見据えた長期的視野に立って検討をいただきたいと思い、その人選については各クラブから2名で会長・副会長又はそれに準ずる方をお願いしました。それに事務局が入り合計12名で検討委員会が構成されました。第1回の会議で委員会名を『会員数均等化委員会』とし、3月より7月まで10回にわたって市民テの活動や問題点についても細かく分析され、協議会として会員数均等化の方策について検討いただきました。委員会の方々のご努力に対して心から感謝申し上げます。

しかしながら、この答申を受けて2度の説明会を行いました。会員の皆さんの参加はあまりよくありませんでした。運営委員会でも何回か審議を重ねてきましたがまとめることができず、本日の総会に議案として提出することができませんでした。長期にわたり真剣に考えていただいた委員会の皆さんには本当に申し訳なく深くお詫び申し上げます。運営委員会では引き続き審議してできるだけ早く結論を出すよう努力し、臨時総会を開いて皆さんにおはかりしたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

毎回申し上げていることですが市民テの精神はテニスを楽しむ、テニスを通して人の輪を広げていくことです。

このあと、事務局および各部より、いろいろと説明や提案があると思いますが、皆さんの忌憚のないご意見をいただき、より充実した活動にしたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。



平成16年度運営委員会活動報告

1. 運営委員会の開催

毎月第2日曜日の10時—12時を原則として平成16年2月から平成17年1月まで合計14回運営委員会を開催しました。

2. 主な討議事項

(1) コートの確保

14年度から導入された抽選予約システムに対応するために、「コート取りチーフ・サブ、許可書管理」と役割分担してコート確保に努め、コート取り説明会も各クラブのコート取り担当が交代する時期に合わせて5回行いました。また、雨天等によるコート代の振替・還付にも対応してきました。市とコート使用料還付等の話し合いを持ちましたが、市の会計制度上の制約等もあり、市民テに取ってやりやすい方向にはなかなか進まないのが現状です。

(2) クラブ会員数のアンバランス

恩多クラブの会員数が減りクラブ運営に支障が出始めているとの問題提起を受け、平成3年度に各クラブ会員数の均等化について検討した時と同様に、専門委員会を設けてこの問題の検討にあたり、答申を7月に受けました。答申案を基に会員数均等化案説明会を2回行い、会員の皆様の意見を聴き、運営委員会でさらに審議しましたが、成案には至りませんでした。 ※7ページの資料1)参照

(3) 市民テのホームページ作成・運用

平成15年度総会で市民テのホームページを専門委員会組織で作ることになり、会員より有志を募り7名構成で内容を審議しました。平成17年には公開出来ることを目標にし、何回かの試行錯誤の後、16年末に暫定的なプロバイダによって公開することが出来ました。
<http://www.asahi-net.or.jp/~fm9k-yku/index.htm> / <http://park20.wakwak.com/~fujioka-hctc/i.html>(携帯電話専用) ※資料2)

3. 学校開放への取り組み

○3月15日(月)村西高の学校開放事業運営委員会出席(早野)テニスは無抽選。

○3月22日(月)村高の学校開放事業運営委員会出席(石田)

○4月30日(金)村高の学校開放抽選に出席(石田、各クラブ1名)

※両校ともに、生徒の試験期間等学校側指定の日(村高16日間)、(村西高11日間)に開放を受けました。前年度より開放日が両校合わせて8日間増えました。

○東村山七中のスポーツ開放を利用しました。

4. 主な行事

○5月3日(月)・4日(火)本井教室。西武ドームコート ○7月3日(土)・4日(日)柳杯(1-3部)村西高・久米川コート

○8月28日(土)7中の草取り

○11月14日(日)新入会員オリエンテーション

○12月11日(土)市民テ忘年会 東村山カクリボール(幹事:恩多クラブ)

平成16年度技術部活動報告

1. 初心・初級・ジュニアスクール(毎日曜9:00-12:00、久米川コート)

(1) 標記対象者について、Ⅰ期(1月-3月)、Ⅱ期(6月-8月)、Ⅲ期(11-12月)に分けてレッスンを実施した。

実施回数は以下の通りである。(注)初心者、ジュニアは前半にてレッスンをした。

・前半(9:00-10:30) : Ⅰ期 11/12回、Ⅱ期 7/14回、Ⅲ期 6/7回

・後半(10:30-12:00) : 前半と同じ

合計 24/33回、実施率 72%

(2) 例年通り受講者を事前に募集した。受講登録者数は下記の通りであった。

前半:15名(うち新規登録者 7名) / 後半:44名(うち新規登録者 8名) / ジュニア:20名(うち新規登録者 11名)

(3) レッソンは予め準備したカリキュラムに従い技術部員23名が分担し、球出しを行った。

2. 中級スクール(祝日、10:00-12:00、久米川コート)

(1) 1月から12月の祝日を利用して、スクール生(初心、初級、ジュニア)以外を対象に中級者レッスンを行った。

(2) 年間のカリキュラムは事前にガットに掲載した。

(3) 7回を予定したうち5回実施 参加者85名(延べ)

3. その他

(1) JSS森川コーチによる指導者レッスンを、3月28日に行った。

(2) 技術部員の合宿を軽井沢で4月10日、11日に行った。

(3) 日本無線テニスクラブと親善試合を9月に予定していたが日程が合わず中止とした。

(4) インストラクターズマニュアル(指導者の心得)抜粋版を作成した。

(5) 「コートの友2004年度版」を購入し、久米川コートに常備した。

平成16年度広報部活動報告

1. 活動方針と活動結果

・毎月1日発行を厳守する → 毎月の発行を達成した

・コート確保状況等の重要な情報はもれなく掲載する → コート情報を毎月のガットに掲載した

3ヶ月毎に実施されるコート取り説明会の情報をガットに掲載した

・発行は広報部員が公平に分担して行う → 10名の広報部員が各1ヶ月づつ担当、部長、副部長が2月号、3月号を担当した

・春、秋の市民大会、合宿等、定期行事内容について掲載する → 市民大会、柳杯、大田杯の結果、各クラブの合宿報告を掲載した

・会員相互の親睦が深まるような内容の記事を掲載できるようにする → 私とテニス以外に「ジュニアに聞く!」、「萩山クラブ早川さんのピースボート洋上レポート」等の記事を掲載した

2. ガット担当部員(ガットP1は西村が、P2は以下の広報部員が担当)

青葉:松木/田中 諏訪:土江/五十嵐 美住:松原/田中/佐野 恩多:栗坂/井上 萩山:大竹/佐藤

平成16年度会計決算報告書(平成16年1月1日～12月31日)

[収入の部]

単位=円

科目	16年予算	16年決算	摘要
前期繰越	966,036	966,036	
年会費	4,546,000	4,546,000	314名
ナイター会費	120,000	142,000	@5,000 * 21名 +ビジター@500 * 74名(延べ)
雑収入	5,000	20,380	指導料@4,800 * 2 銀行利子 他
コート代還付	290,000	384,400	
合計	5,927,036	6,058,816	決算と予算との差額 131,780

[支出の部]

単位=円

科目	16年予算	16年決算	摘要
コート代	1,500,000	1,344,130	市営1,167,730- 民間176,400-
ボール代	580,000	580,000	2,608ヶ 4/缶 * 630缶, 2/缶 * 30缶, セット2/缶 * 14缶
団体加盟費	38,000	38,000	東村山市硬式テニス連盟 @8,000 * 4+6,000
保険料	386,100	386,100	@1,300 * 297名(一般、家族、Jr), 時間外手数料¥105
技術向上費	230,000	228,908	本井教室 コーチ謝礼他
技術部費	170,000	96,378	スクール運営費、森川教室、合宿コート代
親睦費	330,000	196,257	柳杯運営費、忘年会補助金、柏崎交流補助
事務局費A	250,000	163,679	会員名簿、事務諸経費
事務局費B	100,000	23,333	新システム対応費、事務諸経費
専門委員会	150,000	40,676	専門委員会(会員数均等化、HP作成)
広報費	550,000	446,218	ガット印刷、郵送費、会員名簿送料 他
クラブ運営費	909,500	909,500	
事業積立金	100,000	100,000	40周年記念事業費
予備費	633,436	36,438	ボール代
小計	5,927,036	4,589,617	
次期繰越金	0	1,469,199	
合計	5,927,036	6,058,816	

[事業積立金特別会計(40周年)]

繰越金 136,720円

積立金 100,000円

合計 236,720円

平成16年度会計監査報告

平成16年度会計決算報告に対し会計監査の結果、
収支帳簿等に相違ないことを認めます。

平成17年1月23日

会計監査 河嶋和興、荒木ゆきえ

平成17年度予算(平成17年1月1日～12月31日)

[収入の部]

単位=円

科目	予算	備考
前期繰越	1,469,199	
年会費	4,801,000	333名(平成17年度会員数)
ナイター会費	120,000	会費5,000 * 20名 ビジター@500 * 40名(延べ)
雑収入	5,000	銀行利息その他
コート代還付	100,000	
合計	6,495,199	

[支出の部]

単位=円

科目	予算	備考
コート代	1,800,000	市営コート、民間コート
ボール代	800,000	振込み手数料含む
団体加盟費	38,000	東村山市硬式テニス連盟 @8,000 * 4 +6,000
保険料	401,805	@1,300 * 309名(休部を除く、一般、家族、Jr) 休日手数料¥105含む
技術向上費	230,000	本井教室 コーチ謝礼他
技術部費	170,000	スクール運営費
親睦費	440,000	納会(16万) 柏崎交流(3万) 柳杯運営費(25万)
事務局費	300,000	会員名簿、事務諸経費(事務局費A:25万/B:5万)
広報費	570,000	ガット印刷、郵送費、ホームページ費用(7万)
各クラブ運営費	930,500	左表参照
事業積立金	100,000	40周年記念事業費
予備費	714,894	
小計	6,495,199	
次期繰越金	0	
合計	6,495,199	

[各クラブ運営費]

クラブ	会員数	一般家族	変動費	固定費	予算
恩多	45	35	52,500	100,000	1,52,500
萩山	73	62	93,000	100,000	193,000
青葉	59	53	79,500	100,000	179,500
諏訪	55	48	72,000	100,000	172,000
美住	101	89	133,500	100,000	233,500
合計	333	287	430,500	500,000	930,500

平成17年度運営委員会活動計画

1. 運営委員会の開催
市民テの円滑な運営を目的とし、毎月第2日曜日に運営委員会を開催します。
2. コートの確保
コート取り関係の事務作業の増大に対処するため、継続して下記のようにコート確保に努めます。「還付」・「振替」や、大会予備日の開放方法等市と調整していきます。
 - 1) 市営コート
 - * 久米川コート 1月～12月の土・日・祝・祭日の昼間
 - * 恩多コート 1月～12月の土・日・祝・祭日の早朝(7:00-9:00) および 4月～11月の水曜日ナイター(19:00-21:00)
 - 2) 外部コート
 - * 春・秋の大会期間中、及び年末年始などで市営コートが使えないときに民間コート(西武ドームコート等)を、久米川コートの混雑緩和のため東村山高校・東村山 西高校・第七中学校のコートを確保します。また、久米川コートが十分なコート面 数を確保できなかった日にも、民間コート等の確保に努めます。
3. 本井教室を開催します。
4. 柳杯ミックスダブルス団体戦を開催します。
5. クラブ会員数のアンバランス是正について
クラブ毎の会員数のバランスは必ず崩れるものであり、市民テ全体で解決すべき問題と の観点から、運営方法にも多少踏み込んで運営委員会で検討し、クラブ会員数の均等化 案を臨時総会で提案します。
6. ナイター会員の募集:3月1日～3月31日の1ヶ月間、ナイター会員を募集します。
7. テニス保険の加入:平成17年度も例年通りテニス保険に加入しました。
期間 平成17年1月1日～12月31日
休部会員を除く正会員309名(あいおい損害保険)
8. 新入会員募集:
10月1日～10月31日の1ヶ月間、平成18年度の新入会員を募集します。
9. 検討課題の取組

(1) 市民テのホームページ運用について	(2) 運営委員会等の効率的運営について
(3) 「未来像を考える会」からの提言への対応	(4) その他

平成17年度技術部活動計画

1. 初心・初級・ジュニアスクール(毎日曜9:00-12:00、久米川コート)
 - (1) 標記対象者について、Ⅰ期(1月-3月)、Ⅱ期(6月-8月)、Ⅲ期(11-12月)の各期間でスクールを開催する。
レッスンは下記の時間帯、およびクラス分けて実施する。
 - ・前半(9:00-10:30):初心者、ジュニア
 - ・後半(10:30-12:00):初級者
 本スクールは新入の初心者が受講しやすくする為に、ある程度試合が出来るかと判断した場合、または大会等での上位入賞者には卒業を依頼することがある。
 - (2) 例年通り受講者を事前に募集した。受講登録者数は下記の通りであった。
前半:26名(うち新規登録者 12名) / 後半:39名(うち新規登録者 9名) / ジュニア:23名(うち新規登録者 6名)
2. 中級スクール(祝日、10:00-12:00、久米川コート)
 - (1) 1月から12月の祝日を利用してスクール生(初心、初級、ジュニア)以外を対象に中級者レッスンを開催する。
 - (2) 年間(7回を予定)のカリキュラムは事前にガットに掲載する。
3. 役割分担:技術部の役割分担を以下の通りとする。

部長	: 谷古宇勝美(美住クラブ)
副部長(スクール責任者)	: 前半スクール 小池邦彦(青葉) / 後半スクール 川田留美(美住) / 中級スクール 今井奨(諏訪)
4. その他
 - (1) 技術部員のスクール指導技術向上のため、外部指導者によるレッスンを受ける。
 - (2) 技術部員の技術向上のため、合宿および、練習会を開催する。
 - (3) 技術向上と親睦交流のため、他クラブと親善試合を行う。
 - (4) 「コートの友2005年度版」を購入し久米川コートに常備する。

平成17年度広報部活動計画

1. 活動方針
 - ・毎月1日発行を厳守する。
 - ・コート確保状況等の重要な情報はもれなく掲載する。
 - ・発行は広報部員が公平に分担して行う。
 - ・春・秋の市民大会結果、合宿内容等など定期行事内容について掲載する。
 - ・市民テホームページに関して、今後の運用体制およびガットとの協調と住み分けについて検討する。
2. 広報部員:以下の広報部員で編集、発行する。

部長	諏訪クラブ	西村憲治
副部長	美住クラブ	松原純夫
部員	青葉クラブ:松木義三、田中扶規子 / 諏訪クラブ:土江まゆみ、五十嵐のり子 / 美住クラブ:杉本豊、江川裕一	
	恩多クラブ:矢崎潔、松井和則 / 萩山クラブ:佐藤初江、大竹正史	

質疑応答

□美住クラブ谷古宇さん

Q:16年度会計報告のボール代が予備費に記載されているが、収支が合わないのではないかと？

A:(澤田会計部長)ボール代予算の不足分を予備費から支出したため予備費の摘要にボール代を記載した。収支は合っている

□萩山クラブ河嶋さん

Q:16年度からの繰越金は多すぎるのではないかと？

その理由は？ また、17年度の予備費はとりすぎでは？

A:(澤田会計部長)繰越金は15年度分のコート代還付金が多い。また、予備費は外部コートの確保のために多めにとっている

Q:会費の見直しが必要では？

→ご意見に関するディスカッション参照

□美住クラブ谷古宇さん

Q:外部コート利用は何回を予定していますか？

A:(澤田会計部長) 10回を予定

□美住クラブ河原さん

Q:クラブ運営費の固定費とは何か？

A:(朝倉事務局長) 単なる人数割だけではきびしい部分を補強する目的で設定されたものだが、現状のようにクラブ人数の格差が大きい状況だと、不公平感がある。今後見直しの検討も必要である

□美住クラブ谷古宇さん

Q:昨年度はなぜボール代の予算をオーバーしてしまったのか？ 運営委員会では調査、分析したのか？

A:(朝倉事務局長) ルールは決まっている 運営委員会でも調査したが、それほどの無駄はなかったという結論となった (昨年は比較的天候に恵まれたことが大きい)

Q:ニューボール使用のルールが決まっていないのか？ 決まっていたが結果守られなかったということか？

A:(朝倉事務局長) ルールは決まっている 久米川は1日1面あたり2回、恩多は1日1面あたり1回

□萩山クラブ河嶋さん

Q:17年度納会の予算が上がっているのはなぜ？

A:(朝倉事務局長) 幹事クラブの負担軽減と参加費を下げるため

□美住クラブ谷古宇さん

Q:外部コート確保を積極的にとのことだが、市営コートの当選率を上げる手立てを講じたか？

A:(稲用事務局コート担当) 打つ手は全て打っている 予約漏れ、抜けをチェックすることにより、当選率は確実に上がったが、100%は不可能である

□萩山クラブ伊藤さん

Q:テニス保険の申請手続き、保証の範囲は？

A:(朝倉事務局長) まずクラブ会長に申し出る 保証範囲はケガ、ラケット破損等だが、ガットへの掲載も検討する

□諏訪クラブ浜さん

Q:クラブ会員数アンバランス是正について、「運営方法にも多少踏み込んで」とはどうゆうことか？

→ご意見に関するディスカッション参照

□美住クラブ松原さん

Q:来年の新入会員募集はどれくらいの規模を想定しているか？

A:(朝倉事務局長) 例年通りを予定

Q:過去市報で募集したこともあったが？

A:(朝倉事務局長) 今年は考えていない

□美住クラブ田中さん

Q:柳杯の団体戦の内容は決まっているか？

A:(川路副会長) ミックスになる可能性が強いが、実行委員会で決定することになる

□美住クラブ谷古宇さん

Q:久米川コートのサーフェース不良について何らかのアクションをとっているか？

A:(武谷副会長) 連盟への働きかけはやっているが、予算等を理由に回避されている 実際に動かすためには、署名等による圧力が必要と思われる

ご意見に関するディスカッション

□萩山クラブ河嶋さん

・今期は無理だが、会費の見直しは検討してほしい

・余った予算を各クラブへの還付等、無理に使う必要はない

□美住クラブ河原さん

・クラブ運営費の固定費についても検討をお願いする

・不公平感をなくしてほしい

→(朝倉事務局長) 共に運営委員会でも話が出ている 実態を把握してから検討したい

□青葉クラブ荒牧さん

・クラブ運営の負担に関しては、お金の問題だけでなく、人数が少ない面での負担も考えてほしい

□美住クラブ浅田さん

・クラブ運営費の配布は、もともと久米川コートの混雑を緩和するために始めたものであり、均等化問題とは切り離して考えるべき

→(松井会長) 均等化問題に関しては、このあたりの意見を踏まえて、専門委員会で審議していただいたと思っている「クラブ運営にどう踏み込んでいくか」というのは、非情に難しい問題だが、運営委員会で慎重共に討議していくが、みなさんの知恵もいただきたいと思っています

□美住クラブ松原さん

・新入会員の募集人数、規模は、ある程度決めておいてほしい

→(朝倉事務局長) 市報への掲載の是非も含め検討する

□美住クラブ田中さん

・柳杯は、ミックスダブルスのクラブ対抗団体戦ありきではなく、団体枠を外してほしい

□美住クラブ河原さん

・柳杯のあり方を見直すべき ランク付けは差別 クラブ対抗にして敵対心をもつ必要なし

→(川路副会長) 実行委員会に委ねます

□青葉クラブ小池さん

・会員数均等化について、なぜ今回の総会で成案を出すことができなかったのか？

□美住クラブ谷古宇さん

・意見が割れたのであれば、決をとるべきではなかったのか？

→(朝倉事務局長) 運営委員会で何度も討議し、臨時運営委員会まで開催したが、残念ながら意見がまとまらなかった 一部採決も行ったが運営委員会として提案するには至らなかった。できるだけ早い時期に臨時総会を開催する方向にもっていきたい

□青葉クラブ荒牧さん

・技術部への要望ですが、確保コートが少ないときや新人、初心者への配慮として、久米川コートの1番コート半面を利用した球出し等もやっていただきたい

・コート整備もできる範囲で行ってほしい

・各クラブの合同練習、対抗戦を積極的に企画してほしい

→(愛甲技術部長) 球出しは要望に応じて実施します。コート整備は、技術部主体ではなく、あくまでも有志と考えていただきたい

資料1)

会員数均等化に関する第1回説明会の質疑に対する補足

2004/12/12

1. 提案経緯について

本年総会で専門委員会の設立を提案し承認されました。最初にクラブ再編ありきではなく、市民テ全体と各クラブの活動の両立を狙い、各クラブの活動を支援するために、専門委員会答申をベースとして今回の提案を行っています。団体戦・柳杯のメンバー編成などは運用上の問題であって本件とは別に分け、我々はここで会員数のアンバランスに対する解決策を見出していかなければなりません。このためのステップとして、①人数が少なくて運営が難しいクラブをそのまま放っておいてよいか、それとも市民テ全体で救済すべきか？②市民テ全体で救済する場合、一つないし二つのクラブだけが均等化をになうべきか、全体が痛みを分かち合うべきか？③全体で痛みを分かち合うなら、話し合いで均等化を図って新たなクラブ作りをすべきか、抽選で公平に分かち合うべきか？といったことが考えられ、十分ではないかもしれませんが議論を進めてきました。

2. 提案の必要性について

各クラブの運営は人間関係をベースに行われていて、頻りにメンバーが入れ替わる状況になれば役員さんが会員に頼みにくくなり運営上の問題が生じてくるものと理解しています。しかし過去10年で半数以上のメンバーが入れ替わってきた現実から、クラブ毎の会員数のバランスは必ず崩れるものということも理解すべきです。

過去H3年、H11年とクラブ会員数のアンバランスに関する議論を行ってきましたが、恒久策までには至っていません。今回の提案は、クラブ毎の活動をやりやすくし、会員の活動の公平性を保つ観点から会員数を均等化する抽選を取り入れたもので、長い目で見て運営上の諸問題を解決することを意図し、アンバランス発生の都度また同じような議論を重ねる無駄を省くために必須の、将来性を見たルールの提案であることをご理解ください。

3. 人数について:

H3年の専門委員会では70名前後が適正人数と考え約340名を70で割った結果、それまでの4クラブを5クラブに変更しています。今回もクラブ数を固定しようとするのではなく、60-70名を適正人数と考え、これに合わせてクラブ数を変更していくべきであると考えています。別紙に4クラブ、5クラブの場合をシミュレーションした結果を示します。会員数は毎年変動し来年は人数が増えています、減ることも考慮して判断していきたいと考えます。

4. 均等化するための抽選のタイミングについて

50人を割ったら各クラブ運営はつらいという経験から、修正案として「会員数を均等化する抽選については、6年を目安とするが、但し会員数が50人を割り込むなど、クラブ負担の公平性がくずれ、各クラブの運営に支障が生じたならば、都度検討することができるものとする。抽選と地域性の両立は難しいが、市民テは一つであり、この検討の際は、地域性・適正会員数など全ての条件について見直すこともできるものとする」を付け加えることを検討しています。

資料2)

HP専門委員会経過報告

2005/1/13

市民テホームページ専門委員会

1. 経過

平成16年総会で市民テのホームページを専門委員会組織で作ることになった。会員より有志を募り7名構成で内容を審議した。先ず全体の目標を決め、各人のレベルアップ等も考慮して、平成17年には公開出来るようなものを作ることになった。何回かの試行錯誤はあったが、16年末に暫定的なプロバイダによって公開することが出来た。

2. 専門委員会

2.1 専門委員

藤岡信照(委員長) / 谷古宇勝美(副委員長) / 和田純子(会計) / 古村浩三 / 石田晴康(事務局より) / 早野美知子 / 田辺郁子

2.2 専門委員会

構成メンバが決まった5月に第一回専門委員会を開催した。会議内容は下記の通り。

第一回(5/8) 目標・理念の審議、各人の役割分担、コンテンツ案作成、日程の確認

第二回(5/29) 各人のコンテンツ案審議、携帯電話対応

第三回(6/12) コンテンツの担当決定、トップページ案審議、レンタルサーバー

第四回(6/26) 各人の提示内容審議、サーバーについて報告、トップページ審議

第五回(7/19) 各人案の審議、サーバーについて調査報告

第六回(8/14) 各コンテンツの統一性について審議、全体構成概略決定

第七回(9/5) 運営委員会報告事項審議、各コンテンツ審議、トップページ決定

第八回(10/2) 各事案審議、谷古宇ファイルまとめ担当決定

この間具体的な内容審議とページ構成作りの小委員会を数回開催した。

第九回(11/3) 携帯電話対応内容の決定、レンタルサーバーは来年度にする

第十回(11/27) 運営委員会への報告内容発表、来年度への対応

3. 今後の課題

以上のようにHP案と言うべきものはアップ出来たがまだまだ不十分な所もあり、2005年に引き続き検討する。本専門委員会はホームページ保守マニュアル作成を持って終了としたい。

主な検討事項

- ・内容の完成度を高める。
- ・保守マニュアルの作成(最低毎月の更新をするためには情報の統一的収集が必要、このしくみを作るため運営委員会での審議が必須)
- ・レンタルサーバーとの契約。

編集後記

総会でも話ができましたが、最近「久米川コートひどすぎる」の声があちこちから聞こえてきます。これはもう会員一致団結して行動を起こすしかない！運営委員会でも討議を開始しますが、今後皆様のご協力を広く呼びかけていきますので、よろしくお願いします。 諏訪 西村憲治

会員名簿は、個人情報ですので、
取り扱いには十分注意してください。

なお、昨年度(平成16年度)の会員名簿は、即
破棄(完全に)していただけるようお願いいたします。

運営委員会では、会員名簿のあり方について今後検討していきますが、
今年はまだこれまで同様会員名簿を送付させていただきました。

第42回春季市民テニス大会日程

4/3(日)	男子ダブルスB
4/10(日)	女子ダブルスB
4/17(日)	男子ダブルスA/男子シニアダブルス
4/24(日)	女子ダブルスA/女子シニアダブルス
4/29(金)	混合ダブルス
5/1(日)、3(火)、4(水)	予備日